

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立鴨谷体育館、鴨谷野球場、荒山テニスコート	
(2) 施設の設置目的	
市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
美津濃株式会社	
(5) 指定期間	
令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の ・ 収受、トレーニング機器の調達・管理、ニュースポーツ用具の貸し出し、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応) ・ 施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更) ・ 自主事業(スポーツ教室の企画及び実施、トレーニング講習の実施、その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業) その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係 ・ 機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	- 幅広い年齢層を対象とした多種多様なプログラムを提供し、誰もが平等かつ快適に利用できる施設環境を提供した。 - また、堺市立鴨谷体育館等個人情報保護規程に基づいて各種事務処理を適正に行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	- 利用状況やイベント開催に応じた人員配置の適正化を推進し、また休館日を利用した研修日には接客サービス研修やリスクマネジメント研修等を実施し、質の高いサービス提供をめざした。 - 利用者が安全かつ安心して利用できるよう、日常点検に加えファシリティ専門スタッフや専門業者による点検を実施した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	- 市民のスポーツ・レクリエーションの振興、健康・体力の増進をめざし、多種目にわたるスクール事業及びイベントを実施した。 - 定期スクールの他に1回単位で参加できる教室も設定し、大人・子供に関わらず、体力に応じて選択ができるような環境を提供した。
その他特筆すべき取組	- 各協会・地域連盟の協力を得ながら数年ぶりに各種大会・イベントが実施でき、ニーズに応じた地域スポーツの推進に貢献できた。 - またCS推進トレーナー認定スタッフによる接客サービス研修を年3回実施し、日々の業務においてスタッフ全員が取り組む事で、従業員に対する満足度調査の目標を達成できた。

イ 市による状況分析

・維持管理スタッフによる設備の点検を月1回実施するとともに、修繕計画に基づく計画的な修繕を実施することで、安心・安全な施設運営につながった。

・また、社内認定を受けたスタッフによる接客サービス研修等を実施するなど職員の人材育成に注力し、利用者満足度の向上に繋げた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	ミズノグループ	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社
利用者数(単位:人)	215,398	157,468	147,127	192,550	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	98.0	98.7	99.4	99.2	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	施設利用案内やスクール・イベント情報について、紙媒体の広報紙の他、体育館HP・各SNS等を適宜更新しながら利用促進を図った。また参加費無料イベントやトレーニング室スタンプカードを引き続き実施し、運動するきっかけ作りや継続機会の提供に努めた。
意見・苦情・要望等への対応	利用者アンケート実施のほか、ご意見箱を設置し、意見をいただく環境を整えた。また普段のコミュニケーションの中から要望をくみ取り、初期対応を早くすることを心掛けた。
その他特筆すべき取組	野球場無料開放では、水鉄砲大会や芝滑りなど友達同士や親子で楽しめるような機会を提供した。またスクールの無料体験やイベントの申し込みなど、WEB申込を充実させて利便性をアップさせた。

ウ 市による状況分析

ホームページや各種SNSにより利用案内やイベント、諸室の空き状況などの情報を発信することで、周知徹底による利用促進を図った。また、参加者のニーズに合わせ、教室の定員枠を拡大するなど気軽に運動習慣を身に付けられるような場を提供し利用者サービスの向上に努めた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
指定管理者名		ミズノグループ	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社	美津濃株式会社
収入	指定管理料	60,297,822	65,303,917	67,524,424	61,620,000	61,620,000
	利用料金	31,984,160	25,721,305	24,269,935	32,556,415	33,230,000
	負担金	—	—	—	—	—
	その他	3,797,686	845,251	1,074,554	1,946,706	3,273,680
合 計		96,079,668	91,870,473	92,868,913	96,123,121	98,123,680
支出	人件費	28,840,551	28,920,123	37,388,284	35,928,343	31,390,000
	委託料	19,194,811	17,254,068	17,345,774	18,707,303	20,600,000
	総支出額に占める 委託料の割合	22.5%	20.2%	17.9%	17.9%	21.0%
	修繕費	5,037,850	4,972,393	4,449,077	5,084,486	5,000,000
	光熱水費	20,073,189	17,922,070	20,552,017	31,067,916	22,680,000
	その他	12,079,971	16,508,081	17,298,451	13,898,809	18,490,000
合 計		85,226,372	85,576,735	97,033,603	104,686,857	98,160,000
収支差額		10,853,296	6,293,738	-4,164,690	-8,563,736	-36,320
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入		29,879,321	20,244,580	21,877,771	29,396,710	33,841,810
支 出		26,087,823	19,404,469	20,815,319	27,086,500	30,378,322
収支差額		3,791,498	840,111	1,062,452	2,310,210	3,463,488
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	効率的な業務の遂行による人件費抑制、また省エネ・節電スタイルの徹底、電力会社変更によるコストダウンを図ったが、燃料等の高騰による電気代・ガス代の単価上昇を吸収することが出来ず、収支のマイナスは増加した。
------------	---

ウ 市による状況分析

利用料金収入が、新型コロナウイルス感染症影響前の令和元年度の実績を上回ったものの、光熱水費等の大幅な単価上昇により支出が増加し、収支が赤字となった。
令和3年度までの収支状況には自主事業①の収益も含まれている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度	90.0%	99.2%

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用率の向上	体育館 85% 野球場 45% テニスコート 75%	体育館 81.3% 野球場 46.0% テニスコート 75.6%

■収支

指標	目標	実績
利用料金等収入	年額31,565,403円	年額32,556,415円

イ 市による状況分析

- ・接遇研修等によりスタッフの資質向上に努めたことで、利用者の満足度が目標値を超え、100%に近い実績であることは評価できる。
- ・体育館の利用率は、目標値を達成できなかったが、体育館以外の施設の利用率及び利用料金収入は目標値を上回り、指定管理者の各種取組が成果に寄与しているものと考ええる。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	・新型コロナウイルス感染症の影響が残る中のスタートとなったが、利用者の声に耳を傾ける事で不安を取り除き、安心・安全な施設として利用者には満足いただけたのではないかと思います。 ・光熱水費の高騰により想定外の出費となったが、ニーズに応じた自主事業を展開する事で収入合計は令和3年度より増加した。	・幼児から高齢者まで幅広い世代を対象としたスポーツ教室の実施やトレーニング室の利用継続のためのスタンプカードを実施することで、利用料金収入の目標を達成することができた。 ・また、利用者満足度を高い水準で維持し、利用者からの苦情も少ないことから、利用者の視点による適切かつ丁寧な運営に努めている。
今後の取組	今後も安心・安全を心掛け、地域住民や利用者の声に耳を傾けながら市民の健康増進・スポーツ振興に貢献し、施設設備の保全・点検にこれまで以上に注力する。	・アンケート等による利用者の声を大切に受け止め、利用者ニーズを常に把握し、高水準の満足度の維持に努められたい。利用率の低い諸室が更に活用できるよう、自主事業等の創意工夫することを求める。 ・また、施設、設備の細部の点検を行い、不具合の早期発見と早期改善による快適な施設づくりを行うことで、利用者サービスのさらなる向上に努められたい。

評価基準	A 仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B 概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C 管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D 管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

鴨谷体育館及び所管施設 稼働率

※トレーニング室を除く

(単位：％)

施設名	室名	区分	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
鴨谷体育館	第一体育室	平 日	85.2	86.3	87.1	89.1
		土日祝	95.2	93.5	97.6	98.4
		計	88.5	88.6	90.6	92.2
	第二体育室	平 日	89.3	88.3	93.5	90.5
		土日祝	91.9	93.5	96.9	96.0
		計	90.2	90.0	94.6	92.4
	第三体育室	平 日	56.9	52.3	68.2	72.2
		土日祝	65.8	67.2	72.3	69.5
		計	59.8	57.1	69.5	71.3
	第四体育室	平 日	89.8	90.0	93.5	90.5
		土日祝	90.4	92.3	96.4	94.4
		計	90.0	90.7	94.5	91.9
	研修室	平 日	32.1	24.4	26.6	27.7
		土日祝	41.4	28.5	45.2	55.5
		計	35.1	25.7	32.7	37.0
鴨谷野球場		平 日	26.1	17.0	19.5	27.0
		土日祝	80.3	72.1	81.5	79.0
		計	45.1	36.6	41.9	46.0
荒山テニスコート		平 日	69.2	70.4	68.8	64.9
		土日祝	98.0	98.8	98.3	98.0
		計	77.4	78.3	78.3	75.6